

今年のイカナゴ漁況について

(第二報)

① 寒暖の差が大きいよう、一月二十日で、この間イカナゴが採集されておに感じられるが、その後海況は、今年一月中旬(九日)十三日に激しい最初の寒波があり、そのため昨年暮まで大阪湾、播磨灘の水温はとも、例年より、一五度C内外高目だったが、急速に冷えて例年水温度に近づいた模様。

② 一月の中旬は割合暖かい天候が続いたが、二月上旬(二日)四日に第二波の寒波は、再び比較的温暖な日も多いようである。

③ 播磨灘は両域ともかなり多量となっており、特に播磨灘は目立っており、前報でも述べたように、異常冷水現象のみられた昭和三十三年の分布と全く同じ状態を示した。これは、十二月及び一月中の降雨量が例年より少ない(明石港口)ためもあるが、一月下旬の結果からその兆候が認められており、播磨灘西方からの豊後水道系水塊の影響が大きいと推定される。

④ イカナゴの産卵状況はどうか

一月十五日の標本調査では、大半の魚が産卵を終えており、二〇三%のものが取卵中と認められた。また二月上旬の稚性採集結果でも、ふ化直後のもの、割合も大巾に小さくなっている。大阪湾、播磨灘での産卵はまず終了したと思われる。

広島(尾道)、岡山からの情報によると、播磨灘では沖合で早く、沿岸部で遅い傾向を示し、同海岸部の塩飽諸島では十二月二十日

⑤ 一月二十日で、この間イカナゴが採集されておに感じられるが、その後海況は、今年一月中旬(九日)十三日に激しい最初の寒波があり、そのため昨年暮まで大阪湾、播磨灘の水温はとも、例年より、一五度C内外高目だったが、急速に冷えて例年水温度に近づいた模様。

⑥ 稚仔の分布、成長について

一月上旬の結果では、ふ化直後の稚仔が圧倒的に多く、その分布は産卵海域に集中してまた拡散していったが、第二図に示すように両海域とも分散域は拡がっている。

過去、豊漁年(昭和三十一年)と不漁年(昭和三十三年)であった年の同時期で、十二月下旬の親魚の胃内容物及びプランクトン中のイカナゴ(稚仔)の割合が認められる。イカナゴの矢出(Shooting)による被害が認められるので(詳細は調査中)この点不安があるようである。

しかし、これも二月上旬の稚仔の採集量と体長組成の結果から推定される。播磨灘西方からの豊後水道系水塊の影響が大きいと推定されるからである。

⑦ 親魚(フルセ)はどう

前報通り、フルセの年齢組成は一年魚が例年より少なくなっており、採集初期は好な漁獲が得られるようであるが、その期間はあまり長くないようだ。ただ一月十五日の魚体調査では九十八%が産卵を終えて、胃内容物が充実してきて(鰈類・天虫・陸藻・小エビ)例年より肥満する速度は早い中旬に相当する。二月月中旬には相当良い魚体となると予想される。

⑧ それでは漁期も近づいたのか

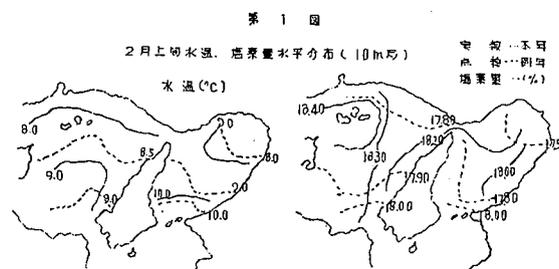
①④及び前報からの結果を総合すると、播磨灘では近年(最近十年平均)均一、三万トンをかな

う少し分布しているものと思われる。

また稚仔の体長組成から、稚仔の産卵域から拡散する状態が推定される。第四図に播磨灘の三測点における体長組成によると、H12ではまだふ化後あまり時間の経過していない小さいものばかりで、H4では小さいもの、割合が多いが、かなり成長したのも混り、Hの成長は前二測点より遅い。

この点から、播磨灘、鹿の瀬の主産卵域が発生したものは、その大半が明石海峡を経て大阪湾へと移動し、一部は淡路南岸沿いに南下するようである。また播磨灘北西域では、小豆島北部域からの添加量により、南西も播磨灘方面からの添加量によっている。

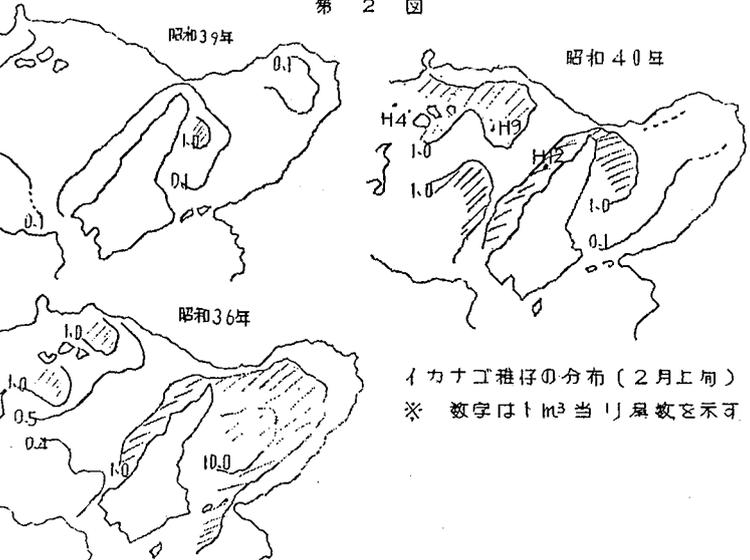
これは、岡山県水試の備後北東域の塩飽諸島域の産卵調査によつて一月下旬の結果では多量の稚仔が採集されており、この海域以東でも(例えは備後瀬戸回り)かなり大きな産卵場があると推定されるからである。



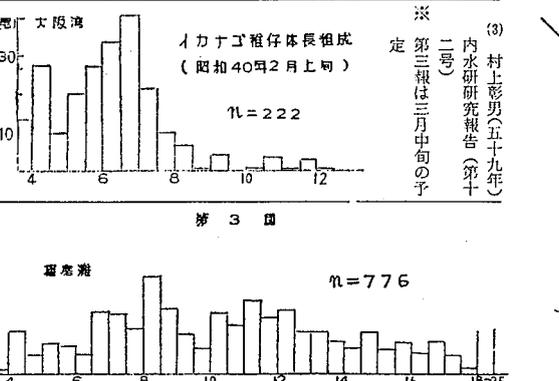
⑨ 播磨灘、大阪湾の稚仔体長組成(第三図)播磨灘の方が採集量が多くなり成長もかなり成長している(全長二五mm)例年より長二五mm)割合も例年より八%が産卵を終えて、胃内容物が充実してきて(鰈類・天虫・陸藻・小エビ)例年より肥満する速度は早い中旬に相当する。二月月中旬には相当良い魚体となると予想される。

⑩ それでは漁期も近づいたのか

①④及び前報からの結果を総合すると、播磨灘では近年(最近十年平均)均一、三万トンをかな



イカナゴ稚仔の分布(2月上旬) ※ 数字はt/m³当り量数を示す



イカナゴ稚仔体長組成(昭和40年2月上旬) n=222

村上彰男(五十九年) 内水研究報告(第十二号) 第三報は三月中旬の予測である。

近年養魚方面への需要増と社会情勢(経済的・人的)の変化により、消極的かつ人員を要する大規模のこませ網の操業は困難となっており、積極的かつ、小人数のバッチ網による漁獲統計が増している。漁獲増が見込まれるようである。現在では以上のように予測する。

参考 文献

(1) 岡山水試イカナゴ情報(一・二報)

(2) 内水研道試験地

山口県漁協婦人部の活動状況等を視察して

神戸市西部漁協婦人部 西水婦人部 副支部長 立花節子

私たちが神戸市西部漁協婦人部で話し合っているのは工場見学の反省と四十年度の事業計画の画をたてるべき役員会を開催しました。

種々協議の結果、最近各地に共産党の活動が、頭打ちの状態であるので、これが打開策の一環として活動的な活動を続けている婦人部の視察が必要ではなからうかという意見に一致いたしました。

組合長さんに相談しましたところ承認を得ました。たまたま、山口県漁協婦人部の活動の視察ということになりました。

林、東野、塩屋の各地の役員さんは各自の養殖をやっておられる関係上熱心に質問されておりました。

工場の見学には集荷してあるノリだけで現在二億円とが数台、従業員は最高五十

掛ける前に先ず小都市にある限漁連の食品加工場へいきました。御案内御説明くださいます。新らしく味付けのりの機械を構造改良、近々操業、生産されることとした。

山口工場は独立採算の形をとっており、山陽支店が設備投資過剰味で今後の生産活動が楽しみですが、工場責任者の浜本課長さんが申されておりました。次に時津会長、掛野課長を聞いで種々話し合いました。

婦人部活動の方では、貯蓄活動を生産活動、生活改善を協議会の指導員のもとに行うこととした。掛野課長を聞いで種々話し合いました。

貯蓄活動では一日十円貯蓄を実施中には、十日投入り年未だからといって引出すようなこともなく、この事業は軌道にのりていくものと見えています。生活改善では漁村刷新運動の家づくり村づくりをスローガンに指導されているようである。

びびりながら山口県でものびのび傾向があり何か刺激が欲しいものだと思われたい。

時津会長は婦人部では婦人部が組合のために協力しようと思えば「もともと」組合を知る必要がある、婦人部の会合には必ず組合の役員の出席を求め、組合の役員会には必ず婦人部からも出席していただきます。組合は組合は良くならないと思われたい。私はそれをききましたと申されておりました。

以上のように山口県婦人部活動が盛んなのは漁村刷新協議会を中心に婦人部が組合が一体となっているのへんにあるのではないのでしょうか。



イカナゴ稚仔体長組成 n=776

思い出の記

故郷の味と香

風 来 漁 人

二十、三十の歳装したうちに汽車は通りすぎた。これが六十年昔のわが母子人...

組合長訪問

家島漁業協同組合



組合長 福 沢 勘 一

漁民はもつと団結を!

二、特定水域指定の問題

昭和二十二年六月、組合長に就任して十九年、その間、幾多の大事小事に遭遇したが、すべて組合発展のため、ひいては兵庫県水産業振興の一助として、私は一身をかけて頑張ってきた。他の組合長は職にある方々にはその気持がよく御諒解いただけると思うのである。...

父のケンカ好きと外祖父の横暴と味に對して少づつ反感と極べつを感じた。それにも増して母の珍味佳者があつた。...

母は「それは磯に居るアミ」といふエピソードも何となく思い出した。...

「このおかず嫌い」は、母の口癖である。...

は、昭和三年一月運輸省告示第五〇六号で告示され現行捕撈漁航路及び捕撈漁北航路等が特定水域に指定されている。

魚族の育成を阻害し、または死滅させているのではないかと、第二に考えられることは、魚族の最も繁殖期といわれる六、七月の雨季に...

「嫌いな食べ」と「嫌い」は、物や事柄に用いられる。...

「特定水域」(以下「特定水域」といふ)は、次のとおりとする。

は、昭和三年一月運輸省告示第五〇六号で告示され現行捕撈漁航路及び捕撈漁北航路等が特定水域に指定されている。

「特定水域」(以下「特定水域」といふ)は、次のとおりとする。

「特定水域」(以下「特定水域」といふ)は、次のとおりとする。

「特定水域」(以下「特定水域」といふ)は、次のとおりとする。

は、昭和三年一月運輸省告示第五〇六号で告示され現行捕撈漁航路及び捕撈漁北航路等が特定水域に指定されている。



